

廃棄物の分別 効率化

党愛知県議団 先進的取り組み視察



西田代表取締役(左端)から効率的な廃棄物の分別について話を聞く党愛知県議団

公明党愛知県議団(渡会克明団長)はこのほど、企業の廃棄物処理・リサイクルなどを行う株式会社毎日商会(同県岡崎市)を視察した。同社は2月、環境負

荷の軽減などにおいて優れた事例を県が表彰する「愛知環境賞」の優秀賞を受賞している。

同社は、多様な物が混ざった混合廃棄物の処理において、手作業で選別しづら

い細かい廃プラスチック、木くずや紙くず、鉄など軽量のごみを、風力や磁力を用いて効率的に分別する業界初のシステムを昨年から導入。このシステムにより、埋め立て処理量の大幅な削減を実現している。

西田勝志代表取締役は「廃棄物は、燃料などとしてリサイクルできる原料を含む貴重な資源。廃棄物の持つ可能性の追求に挑み続けたい」と語った。

県は廃棄物のリサイクルなどを推進する企業を募集し、採択した企業に補助金を交付している。同社の取り組みも、16年度に補助を受けたことがきっかけ。視察後、渡会団長は「廃棄物の再資源化を進める画期的な事例。こうした取り組みが広がるように努めていきたい」と話していた。